

## 青森県における高齢者のがん罹患・死亡率の傾向

田中里奈<sup>1</sup>、松坂方士<sup>2</sup>、佐々木賀広<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 弘前大学大学院医学研究科医学医療情報学講座

<sup>2</sup> 弘前大学医学部附属病院医療情報部

### 目的

青森県の高齢化率は2018年時点で32.6%と秋田県、高知県に次いで高く、内閣府の推定では2045年には46.8%まで上昇するとされている。高齢者では発がんリスクが高いため、がん対策を考える上でこの高齢化の影響は無視できない。本研究では2012～2017年の青森県の65歳以上のがん罹患・死亡率から、今後増加しうる高齢者のがんについて検討した。

### 方法

罹患数：青森県がん登録報告書（平成24年分集計～平成29年分集計）より、65歳以上の年齢階級別罹患数および死亡数を得た。

人口：国勢調査から2010年、2015年、2020年の人口を得て、内挿により各年の人口を算出した。

死亡率比、罹患率比：2012-2013年、2014-2015年、2016-2017年の3群に分け、年齢階級別の罹患率、死亡率を算出した。さらに、部位別に85歳以上の罹患率比および死亡率比（2012-2013年vs. 2016-2017年）を算出した。

### 結果

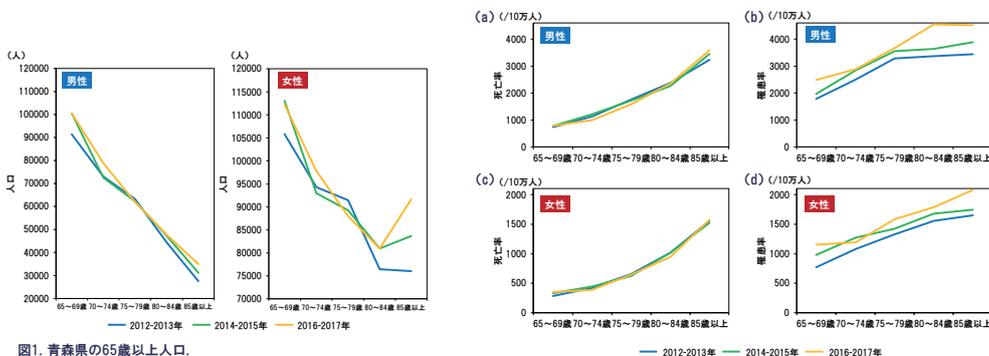


図1. 青森県の65歳以上人口。

図2. 65歳以上年齢階級別死亡率および罹患率（全部、2012～2017年）。  
(a) 年齢階級別死亡率（男性）(b) 年齢階級別罹患率（男性）(c) 年齢階級別死亡率（女性）  
(d) 年齢階級別罹患率（女性）

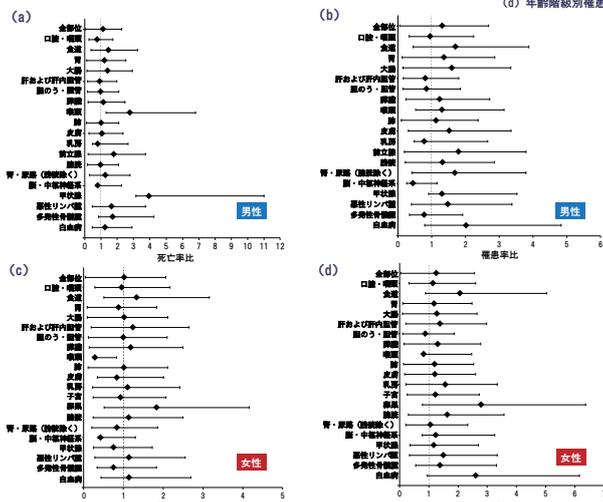


図3. 85歳以上死亡率比および罹患率比（2012～2013年vs.2016～2017年）。  
(a) 死亡率比（男性）(b) 罹患率比（男性）(c) 死亡率比（女性）(d) 罹患率比（女性）

図1：男女ともに80歳以上の人口は年々増加していた。特に女性では、85歳以上の人口の増加が顕著だった。  
図2：年齢階級別死亡率は男女ともに年齢階級とともに増加した。死亡年による変化はなかった。年齢階級別罹患率は男女ともに年齢階級が上がるとともに増加した。さらに、罹患年が進むにつれて罹患率は増加した。  
図3：85歳以上死亡率比は男女ともほぼすべての部位で大きな差はなかった（男性：0.7～1.8、女性：0.3～1.8）。しかし、男性の喉頭（2.8）および甲状腺（3.9）については2016-2017年に増加した。罹患率比は男女ともにほぼすべての部位で2016-2017年に増加した。特に増加が大きかった部位は、白血病（男性：2.0、女性：2.6）、前立腺（1.8）、卵巣（2.8）であった。

### 考察

青森県では、高齢者の死亡率に大きな変化はみられないものの、罹患率はほぼすべての部位で増加していくと考えられた。85歳以上高齢者のがん患者には観血的治療などの侵襲性の高い治療を実施することは困難である場合が多いために治療することは難しく、また死亡率に変化はないことから、今後高齢者のがん有病者数が増加していくと考えられた。さらに、有病者数が増加することで、病床などの医療資源が不足していく可能性が考えられた。

日本がん登録協議会 第31回学術集会  
筆頭演者：田中 里奈  
当演題発表に関連し、開示すべきCOIはありません。